

日付	8/18 (水)	人数	13人			
参加者	龍野商工会議所青年部					
主な意見						
(地域に誇りを持つ若者を増やす)						
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツで頑張っている選手は、地域が積極的に関わり、地域の愛情をたくさん貰っているような気がする。地域の誇りを持ってたつのを背負って発信してくれる子どもを一人でも多く増やしたいという思いで青年部活動をしている。 						
(本物の体験が大切)						
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに夢を与えるための体験をさせてあげたいと思っている。感性を養うことが自由な発想につながると思うので、たくさんの自然を教育の中にどう取り入れるかが大切。スマホで世界が見られるなど、デジタルの発展は悪いことではないが、スマホを見ない者に逆に感性が豊かな人が多いように感じる。自分の目で見て触って感じられる、そういう体験の場を大切にしていくべきだと思っている。 						
(住みたいと思えるまち、楽しめるまちづくりが必要)						
<ul style="list-style-type: none"> ・常々思っているのは、便利な昭和初期になればいいと思っている。昭和初期時代は、焼け野原のまちを何とかしようと地域が同じ目的で同じ方向を向いて動いていた。今は便利な世の中になり、地域よりも個人の権利しか見ていない。西播磨、特にたつのは、少子対策していますといいながら、人口の取り合いになっている。そうではなく、子どもが住みたいと思って定住していくまちづくりをしていくべきだ。他所から取らなくても済むのではないか。子どもは住む理由がないから出て行く。 ・子育てしやすいとか、子どもが安全な地域という目標になりがちだが、子どもがどうしたら楽しくなるか、楽しめる地域を考えるのも一つの手法かなと思った。 						